

「茶話やかママちゃん」はじまりました！

子育ての悩み・・・お気軽にご相談ください

町では、子どもたちが心身ともに健やかに育つように、児童家庭相談窓口として「茶話やかママちゃん」を開設しました。

児童家庭相談員が家庭における子育ての不安や悩みに関する相談に応じます。

例えば、子育て中のお母さんは外出も思うようにできず自分の家の中で、一人で悩みやストレスを溜めてしまつてことがあります。

そんなとき、ちょっと一息つきに「茶話やかママちゃん」に来てみませんか？

毎月1回、お茶を飲みながら、リフレッシュしましょう！

なお、日頃から気にかかっていた悩み事や自分ひとりで解決できない相談事などもお受けします。相談は無料で秘密は厳守されます。



スタッフの声

神崎保育所にて臨時保育士を11年間勤め、子育てや家庭の様々な相談を受けてきました。この事業を通して、より多くの方々とふれあい、毎日の生活が心軽やかになれるようなサポートが出来ればうれしく思います。

お問い合わせ 保健福祉課 ☎1603

児童家庭相談員を紹介しします



和田多香子さん

相談窓口
保健福祉課、ふれあいプラザ保健福祉館内「相談室」
相談日時
毎月1回（相談日は広報でお知らせします）
9月は14日（金）に行います。
時間は午前10時30分～12時
電話での相談は保健福祉課で随時受け付けます。

会社訪問

鍋店(株) 神崎酒造蔵

清酒「仁勇」を醸造している鍋店元禄元年（1689年）に創業を開始して以来、30年以上伝統の味を造り続けている蔵元で、明治時代に神崎に出蔵を設け、現在同社の酒蔵になっています。年間700KLを製造。

「酒・人・心」をテーマに、日本人の食文化になくはならない食中酒として、日本酒の素晴らしさを伝えるため、昔ながらの手造りの手法で品質の高い酒造りをしています。

製品は香りの高い大吟醸酒から純米酒・本醸酒・普通酒・生酒に至るまで150種類以上の製品を出荷しています。また、ご当地清酒として地元のみを使用してお酒も造っています。製造面での最大の特徴は、平成9年より杜氏や蔵人による酒造りから脱却して、社員全員での酒造りに方向転換をしたことです。



▶ 神崎町産総の舞使用の特別純米酒「神崎蔵」

「酒造りは天気・気温・湿度など毎日違った条件の中で、長い日数と

複雑な作業をつみ重ねていきます。この間、チームワークを大切にし、お互いに妥協することなく1本1本おいしいお酒を造っています」と高田工場長は語っていました。
2月中旬に蔵祭りを開催していますので、是非お立ち寄りください。

私の職場

貯蔵タンクからびんに詰める作業や商品のラベル張り、梱包などを担当している一鍛田清子さん（古原）と篠田千波さん（本宿）。二人とも商品の最終確認をする係で、びんのキズや異物が混入していないかどうか念入りにチェックしています。

常に気をつけていることは、整理・整頓・清潔・清掃の4Sを心がけ、また、商品の種類が多いので、商品のパッケージを間違えないよう日々仕事に取り組んでいます。
もうすぐ酒造りが始まるので、新しいお酒ができるのが楽しみです。



商品ラベルを貼る一鍛田さん（右）と篠田さん